

政令指定都市・区制移行 10周年



4月1日、本市は政令指定都市・区制移行から10周年を迎えました。今号は「市報にいがた・区役所だより記念号」として、10年の歩みや市民の皆さんの声、これからの本市の取り組みなどを紹介します。

みんなで歩んだ政令市10年 安心と活力、次なる10年へ

新潟市長 篠田 昭



新 潟市が本州日本海側で唯一の政令指定都市になって丸10年が経過しました。15市町村が大合併して81万都市を実現させた原動力は、「政令市を新潟の地に誕生させよう」との熱い思いにほかなりません。

2005年の大合併に際して、私たちは「新・新潟市合併マニフェスト」政令市を開く40の扉」を作成しました。「新潟は『共に育つ』政令市を目指します」と基本理念を明示し、「新潟市は先輩の政令市とは違うタイプになる」と内外に宣言しました。その上で目指す3つの都市像とキーワードを明らかにしました。1つ目は「世界と共に育つ日本海政令市」(キーワード「創造」)であり、2つ目が「大地と共に育つ田園型政令市」(互恵)、3つ目が「地域と共に育つ分権型政令市」(協働、安心・安全)でした。

「日本海政令市」とは、環日本海の拠点都市を目指すという先人たちの夢を引き継いだものです。しかし、残念ながら新潟県はこの十数年、厳しい災害にたびたび見舞われた上、環日本海を取り巻く国際環境も良好とは言えない状況でした。県と県内市町村の連携不足もあり、環日本海の拠点性は低下したと総括せざるを得ません。一方で本市は「東アジア文化都市」に選定されるなど、文化創造の力を伸ばし「文化交流拠点」の役割を果たしてきました。G8・G7やAPECの大臣会合も開催しました。「防災・救援首都」という新たな役割も見えており、県と共に次の10年への挑戦が始まります。

「田園型政令市」は、農業が厳しさを増す中で6次産業化に力を入れ、「国家戦略特区(農業特区)」の指定を受けました。大地と田園の力をフルに活用する「12次産業化」や、食と農と文化を融合させる「食文化創造都市」への道付けも進んでいます。

「分権型政令市」のキーワード、協働と安心・安全は本市の看板になってきました。新潟の誇る市民力と地域力を活用して、超高齢社会が進行しても地域で医療・介護が受けられる新しい支え合いの仕組みづくりは全国のモデルとなっています。全国で求められている子ども・子育て支援の土台も政令市の中でトップレベルといわれています。さらに健康データを見える化し健康寿命を伸ばす取り組みや、まちづくりと健康づくりを徹底連携させる「健康都市づくり(Smart Wellnessシティ)」も始まっています。

市民の皆さまのご協力で「安心政令市」の土台は良い形で構築することができました。改めて感謝申し上げます。さらなる安心と活力を求めて、次の10年に向け力強く踏み出していきます。

北区



10年間の主な出来事・取り組み

- 北区誕生記念イベント「第1回キテ・ミテ・キタク」を開催(平成19年9月)
- ござれや阿賀橋が開通(21年9月) = 写真① =
- 天皇、皇后両陛下が豊栄福祉交流センタークローバーをご訪問(21年9月)
- 豊栄総合体育館でトキめき新潟国体柔道競技会を開催(21年10月)
- 新潟医療福祉大学と包括連携協定を締結(22年3月) = 写真② =
- 北区文化会館がオープン(22年6月) = 写真③ =
- 北区海岸林保全計画を策定(25年3月)
- オオヒシクイを区の鳥に制定(27年1月) = 写真④ =
- 区内の中学生による潟総おどり開催(27年9月) = 写真⑤ =
- 新庁舎の整備位置を北区文化会館周辺に決定(28年5月)
- 御山伊佐弥神楽65年ぶりの復活(28年9月) = 写真⑥ =
- 北区産さつまいも「しるきーも」の名称決定(28年11月) = 写真⑦ =

わたしのおススメ

北区のここがスキ!



小柳 関



松浜中学校 田村唯登さん



開志学園高校 五十嵐猛さん



新潟医療福祉大学 齋藤真美さん

区の将来像

こんな北区になってほしい!



新潟医療福祉大学 吉田佳史さん



赤崎小学校・齋藤瑠花さん、田中咲希さん、須田夏純さん



松浜本町在住・和多田みなみさん、来友さん

※学校名などの再書は3月現在

東区



10年間の主な出来事・取り組み

- 山の下みなとランドがオープン(平成19年4月) = 写真⑤(24年の様子) =
- 全コミュニティ協議会主催で第1回東区区民ふれあい祭開催(19年9月)
- 希少な水草ミズアオイを植栽してPR(21年) = 写真③ =
- 東区市民劇団が音楽劇を公演(21年11月) = 写真⑥(26年公演の様子) =
- 東区役所新庁舎を開設(23年9月) = 写真② =
- 渟足柵探索プロジェクト始動、マスコットキャラクター「ぬたりん」誕生(24年)
- 牡丹山諏訪神社古墳で須恵器の破片が県内初出土(26年9月) = 写真⑦(27年発掘調査の様子) =
- 木戸地域コミュニティ協議会と協働で工場夜景バスツアー実施(27年) = 写真④ =
- 中野山小学校区コミュニティ協議会と協働で赤道地下道の美化を実施(27年) = 写真⑧(左下は設置した小学生の絵) =
- 山の下木遣り保存会が文化財保護功労者表彰(27年6月)
- 新・東区役所誕生5周年(28年) = 写真①(イベントの様子) =



わたしのおススメ

東区のここがスキ!



工場夜景に隠れた魅力
夜、通船川沿いでは、工場を照らす光が水面に反射し幻想的な夜景を楽しめます。(木戸地域コミュニティ協議会理事長・長谷川徳昭さん)



古代東区の歴史浪漫
東区にある歴史や伝説にふれながらぶらりと歩いてみてください。(東区歴史浪漫プロジェクト実行委員長・金子義雄さん)

区の将来像

こんな東区になってほしい!



これまで以上に子育てにやさしい区になると良いですね。(中木戸在住・本間博美さん、杏珠ちゃん)



学生と地域の人が、世代を超えて活発に関われる東区になってほしいです。(新潟県立大学・大滝基裕さん)

中央区



中央区役所はことし8月14日にNEXT21に移転します。

10年間の主な出来事・取り組み

- 本市初の中等教育学校となる高志中等教育学校が開校(平成20年11月)
- 街なかサロンやまちづくり情報拠点を設置し、地域コミュニティと空き店舗解消に取り組んだ上古町商店街が中小企業庁の「新・がんばる商店街77選」に選ばれる(21年3月)
- みなとまち新潟の魅力伝える取り組み「新潟の町・小路めぐり」「進化する日和山物語」がグッドデザイン賞を受賞(25年・26年)
- 新潟柳都中学校が開校(26年4月)
- 官民協働で整備を進めた早川堀通りが開通(26年5月)＝写真②＝
- 本市と沼垂町との合併100周年を祝うイベント「萬代橋 de 100年婚」を開催(26年8月)
- 豪商齋藤家の四代齋藤喜十郎が大正7年に西大畑町に建てた別荘旧齋藤家別邸(旧齋藤氏別邸庭園)が、国の名勝に指定される(27年3月)＝写真③＝
- 日和山小学校が開校(27年4月)
- 市場だった長屋を商店街として再生させた沼垂テラス商店街が「地域再生大賞」の準大賞に選ばれる(28年1月)＝写真④＝
- やすらぎ堤に飲食店などが出店する「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」が始動(28年6月)＝写真①＝

わたしのおススメ

中央区のここがスキ!



新潟砂丘
歴史博物館みなとびあから新潟砂丘の地形を感じるまち歩きコース、日和山登山(12.3m)がオススメです!
(路地連新潟・野内隆裕さん)



区の将来像

こんな中央区になってほしい!



鳥屋野鴻が漁師が魚を獲るところを見せる観光スポットになればいいと思う。調理した魚を食べてもらえる場所があれば最高だね。
(鳥屋野鴻漁協・増井勝弘さん)

雨の日も友達みんなで体を動かして思いっきり遊べる場所が増えるといいな。
(平成19年4月1日生まれ・平野心結さん)



江南区



10年間の主な出来事・取り組み

- 亀田駅前地域交流センターがオープン(平成19年4月)
- 中央卸売市場が開場(19年5月)
- 亀田駅東口・西口駅前広場が完成(20年3月)＝写真②(西口)＝
- G8労働大臣会合で各国大臣らが北方文化博物館・亀田製菓(株)に訪訪(20年5月)＝写真③(北方文化博物館)＝
- 亀田総合体育館・横越総合体育館でトキめき新潟国体バスケットボール競技会開催(21年9～10月)
- 江南区文化会館が開館(24年10月)、グッドデザイン賞を受賞(25年9月)＝写真①＝
- 江南消防署新庁舎が完成(25年10月)
- 「亀田縞」が国の地域団体商標制度に商標登録(26年4月)＝写真④＝
- 自転車で区内を走る「区めぐり自転車交流会」初開催(26年10月)＝写真⑤＝
- 江南区福祉センター「きらとぴあ」、亀田総合体育館武道場・屋内多目的運動場、亀田地区コミュニティセンターが開館(27年3～4月)
- 日本海東北自動車道新潟東スマートインターチェンジ開通(28年3月)

わたしのおススメ

江南区のここがスキ!



ちょうどいいまち
大型ショッピングセンターが多くあって便利で、田んぼなどの緑も豊かで住みやすいです。飲食店が多いところもおススメです。

区の将来像

こんな江南区になってほしい!



人と人が笑顔でつながる温かいまち。区の歴史・文化・産業がいつまでも残ってほしいです。
(ギャラリー杜の蔵・塚田美智子さん)



日本一子どもの笑顔が集まるまち。日本一お年寄りにやさしいまち。日本一みんなが元気なまち。(江南宣隊ユメレンジャー)



江南区親善大使の皆さん

秋葉区



10年間の主な出来事・取り組み

- 10周年ハロウィン仮装まつり初開催(平成19年10月) = 写真① =
- 金津油田が「近代化産業遺産群」に認定(19年11月)
- 「駄菓子や昭和基地1丁目C57」オープン(22年7月)
- 小須戸に町屋ギャラリー薩摩屋オープン(24年4月)
- 秋葉区に花火復活「第1回あきはなびまつり」(25年7月)
- 里山と暮らす「秋葉小夏」初開催(26年6月)
- 新津の商店街が「がんばる商店街30選」に選定(27年3月)
- Akihaマウンテンプレーパーク開設(27年11月) = 写真② =
- 国道403号(矢代田~天ヶ沢)が開通(28年3月) = 写真③ =
- 新潟薬科大学新津駅東キャンパス開設(28年4月)
- まちの茶の間「だんだん嶋岡」オープン(28年5月) = 写真④ =
- ロコモ予防はお任せPPK48デビュー(28年9月) = 写真⑤ =



わたしのおススメ

秋葉区のここがスキ!

花のまち♡ Akiha

アザレアやクリスマスローズなど花の魅力がたくさんあります。5月は日本一の生産量を誇るボケ公園のかわいらしいボケに出会えます。(株)エフエム新津・齋藤有美さん



自然豊かな環境が自慢

私の生まれ育った秋葉区は、1年を通して、花や植物を感じるまちです。子どもたちがのびのびと成長できる自然豊かな環境が自慢です。(元ヤクルトスワローズ投手・本間忠さん)

区の将来像

こんな秋葉区になってほしい!

豊かな自然や街が持つ魅力を生かし発信して、皆が集い住みたくくなるような、子どもも大人も笑顔に溢れる愛される街にしたい。(AKIHA COFFEE Hub・吉田剛人さん、愛さん)



高齢者や障がいのある人を見守れる区。若者を、子どもたちを励まし育てられる区。花、里山、病院、学校、全部あるんだから! (山の手コミュニティ協議会・又地浩一郎さん)

南区



わたしのおススメ

南区のここがスキ!

白根の町屋のまちなみ

昔ながらのノスタルジックな雰囲気の建物が数多く残っています。商店街の小路や路地裏も味わい深く絵になる風景です。(しろね大風タウンガイド・本間日菜さん)



味覚と伝統文化の宝庫

“西洋ナシの貴婦人”ルレクチエをはじめとした農産物が自慢。凧合戦など各地区に受け継がれている伝統文化、まつりも魅力です。南区が活性化するように高校生として協力していきます。(白根高校・武田晃英さん、長谷川琳太郎さん、瓜生奈央さん)



10年間の主な出来事・取り組み

- 白根カルチャーセンターでトキめき新潟国体レスリング競技会開催。天皇、皇后両陛下ご観戦(平成21年9月)
- 白根野球場オープン(25年4月)
- 旧笹川家住宅(笹川邸)国の重要文化財指定60年(26年3月) = 写真④ =
- 日本初の公立教育ファーム「アグリパーク」開園(26年6月) = 写真⑤ =
- 白根総合公園屋内プールがオープン(26年10月)
- 月潟角兵衛獅子約40年ぶりに生の口上とはやし復活(27年3月) = 写真③ =
- 白根大風合戦が県無形民俗文化財に指定(27年3月) = 写真① =
- 4代目白井橋開通(27年10月) = 写真② =
- 南区PR大使にNGT48加藤美南さん、水澤彩佳さんが就任(28年2月)。29年3月、水澤彩佳さんに代わりNGT48中村歩加さんが新大使に就任 = 写真⑥ =
- 「国道8号春まちフェスタin南区~寄り道していきなせや~」開催(29年3月)

区の将来像

こんな南区になってほしい!

まずは交通の利便性が高いまちへ。そして農業、果樹のまちを進化させて食べて、遊んで、楽しめる、人々の交流が盛んなまちにしていきたいです。(白根青年会議所・市嶋洋介さん、杉山聖奈さん)



子育て世代が、いつでも気軽に情報交換や悩みを相談できる環境になるといいですね。子どもたちの健康づくりも大切。豊富な農産物を生かした食育も進めてほしい。(ママズカフェラポール・和泉美春さん、奏さん)

西区



10年間の主な出来事・取り組み

- 日本文理高等学校が甲子園準優勝(平成21年8月) = 写真① =
- 20年ぶりに赤塚太々神楽の稚児舞が復活(22年4月) = 写真② =
- 新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」誕生(23年) = 写真③ =
- 赤塚・内野・黒崎南・大野町のまち歩きを開催 = 写真④ (黒崎南) =
- 国道402号沿い人工砂丘完成(28年5月) = 写真⑤ =
- みどりと森の運動公園オープン(23年7月) = 写真⑥ =
- 内野新川大橋が開通(22年11月) = 写真⑦ =
- 西区新鮮あさ市開始(19年6月) = 写真⑧ =
- 越乃リュウさん西区かがやき大使に就任(28年4月) = 写真⑨ =
- 内野まちづくりセンター完成(28年10月) = 写真⑩ =

わたしのおススメ

西区のここがスキ!



田んぼや畑とまちの距離感が良くて、おいしいものがたくさん。人の営みを感じられるまちで居心地も良い。私たちの活動する内野町は、最近活発になっている若い人の活動を、地域の人が見守ってくれるのも魅力の一つです。(つながる米屋コメタク・井上有紀さん)



年代別日本代表に選出され、海外遠征に参加した際は「西区の空気は澄んでいる」と感じ、生まれ育った地元の素晴らしさを再認識しました。また、サッカーをしている私にとって、トレーニング設備の充実したコスボが大好きです。(アルビレック新潟レディース・唐橋万結選手)

区の将来像

こんな西区になってほしい!



冬の曇り空に負けず、住んでいる人が心躍るような、新しいこと・ものを導入・挑戦していくまちになってほしいです。(新潟国際情報大学・星野誠也さん)



芸術は理屈なしに人を元気をさせるものです。芸術を通して学生とまちが関わり、まちの魅力から新しい価値観を見つけることで、活気あふれるまちにしていきたいです。(新潟大学教育学部 日本画専攻・石田唯さん)

西蒲区



10年間の主な出来事・取り組み

- 第1回わらアートまつり開催(平成20年11月) = 写真① (写真は28年9月) =
- トキめき新潟国体ホッケー競技会開催(21年10月) = 写真② =
- 岩室観光施設「いわむろや」オープン(22年4月)
- 巻図書館オープン(23年9月)
- のぞきからくり「八百屋お七」屋台お披露目(24年4月) = 写真③ =
- 中ノ口農業体験公園オープン(24年7月)
- 西川総合体育館オープン(25年5月) = 写真④ =
- 岩室温泉開湯300年祭(25年6月) = 写真⑤ =
- 第36代横綱羽黒山生誕100周年イベント(26年8月) = 写真⑥ =
- 潟東サルビアサッカー場、城山運動公園屋内コートがオープン(27年5月) = 写真⑦ =
- 上堰潟公園DEヒマワリ開催(27年8月) = 写真⑧ =
- 短篇映画「にしかん」公開(28年12月) = 写真⑨ =

わたしのおススメ

西蒲区のここがスキ!



元気な子どもたち
海に山、おいしい農産物がたくさん。自然豊かな中で育っている元気な子どもたちは未来への宝です。(子どもセーフティスタッフ・杉山さん)



心地良い所
住み心地が良い所です。熱意や目標のある方が多く、学ぶことがたくさんあります。(新潟県農業大学校・川瀬さん、藤崎さん、渡邊さん)

区の将来像

こんな西蒲区になってほしい!



子どもがっばいで、誰もが生活しやすいまちになって欲しいです。(ゆりかご学級の参加者・山上さん、遥葵くん)

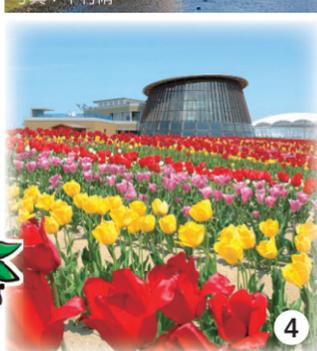


住んでいる人たちが温かく、自然豊かな西蒲区をずっと守っていきたいです。(西蒲 The ミッションの参加者・阿部さん、堀さん、遠藤さん)

平成19-28年度の主な出来事

平成19年度から28年度までに本市で起きた出来事や取り組みを、年表と写真で振り返ります。

平成19年度 (2007年度)	4月	本市が本州日本海側初の政令指定都市に＝写真①(記念イベント「春、祝祭」)＝。8区に区役所を開設
	4月	新・新潟市総合計画スタート
	10月	滞在型図書館「ほんぽーと中央図書館」開館
平成20年度 (2008年度)	5月	朱鷺メッセで「G8労働大臣会合」開催
	6月	「81万人のリサイクル サイ・挑戦」新ごみ減量制度始まる
	1月	フランス・ナント市と姉妹都市提携
平成21年度 (2009年度)	7月	「水と土の芸術祭」を初めて開催＝写真②＝
	9月	新潟駅南口広場が完成
	9月	本県では45年ぶりの開催となる国民体育大会「トキめき新潟国体」開幕
平成22年度 (2010年度)	10月	県内初開催となる全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」開幕
	4月	ナント市発の音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」を初めて開催＝写真③(写真は2015年の様子)＝
	10月	朱鷺メッセで「APEC新潟食料安全保障担当大臣会合」開催
平成23年度 (2011年度)	3月	3・11東日本大震災が発生。義援金の受け付けや職員派遣、避難所開設などで被災地を支援
	10月	「食育・花育センター」オープン＝写真④＝
	11月	新潟港が日本海側拠点港に選定される
平成24年度 (2012年度)	11月	「NIIGATA SKY PROJECT」初のブースを東京国際航空宇宙産業展に出展
	10月	第30回新潟シティマラソン開催。ゲストランナーにシドニー五輪金メダリストの高橋尚子さんを初めて迎える
	11月	子育て応援キャラクター「ほのわちゃん」誕生＝イラスト⑤＝
平成25年度 (2013年度)	4月	伝統芸術の祭典「アート・ミックス・ジャパン」を初めて開催
	5月	マンガ・アニメ情報館オープン＝イラスト⑥(マンガ・アニメのまちにいがたサポートキャラクター・花野古町と笹団五郎)＝
	6月	技術課題の解決と6次産業化の支援拠点として「農業活性化研究センター」オープン
平成26年度 (2014年度)	4月	「みなと新潟春フェスタ～光の響演」を初めて開催＝写真⑦(写真はプロジェクションマッピング)＝
	5月	「大規模農業の改革拠点」として国家戦略特区に指定される
	6月	体験・学習・交流施設「いくとぴあ食花」グランドオープン
	6月	「アグリパーク」オープン
	6月	全ての市立小学校などで「新潟発 わくわく教育ファーム」スタート
	10月	本市初の地域包括ケア推進モデルハウスがオープン
平成27年度 (2015年度)	1月	日中韓の文化事業「東アジア文化都市」の日本での開催都市に選ばれ、1年を通じ交流＝写真⑧(写真はクロージングイベント)＝
	4月	8年間の総合計画「にいがた未来ビジョン」がスタート
	9月	持続可能な公共交通体系の構築へ「新バスシステム」始まる＝写真⑨(写真は連節バス「ツインくる」)＝
平成28年度 (2016年度)	3月	国家戦略特区の規制緩和を活用した全国初の農家レストランがオープン
	4月	熊本地震が発生。義援金受け付けや職員派遣などで被災地を支援
	4月	朱鷺メッセで「G7新潟農業大臣会合」開催＝写真⑩＝
4月	2階建てレストランバスが全国で初めて本市で運行	



これからの新潟市

10周年を契機に、市民の皆さんと次の10年に向けた方向性を共有しながら、新たなまちづくりが始まります。全国的に進む人口減少と少子・超高齢社会への対応を強化。また、北東アジアの文化交流拠点としての役割を果たしていくため、2019年の開港150周年や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みを進めていきます。



食文化創造都市

食や農とさまざまな地域資源を結び、食文化を楽しむ新たな観光の形「ガストロノミーツーリズム」が動き始めました。(写真はレストランバス)



新たな支え合いの仕組み

本市が誇る「市民力・地域力」を生かし、健康寿命の延伸や子育て支援などにつなげていきます。(写真は「実家の茶の間・紫竹」)



食と農を通じた地域づくり

教育ファームなど食と農の取り組みを、子育て、教育、福祉の分野に広げて展開。子どもの生きる力を育み、農業の活性化を目指します。

拠点性や都市機能の充実

新潟駅周辺や公共交通網の整備を進めるほか、国内外からの誘客とクルーズ客船の誘致を進めます。(画像は高架化した新潟駅のイメージ。新幹線と在来線が同じホームで乗り換えできるようになります)



みなとまち
みらいまち
新潟市

編集・発行

■市報にいがた…新潟市広報課
(〒951-8550、中央区学校町通1-602-1)
☎025-226-2089

■区役所だより

…区役所地域課

北 区 ☎025-387-1175
東 区 ☎025-250-2130
中央区 ☎025-223-7035
江南区 ☎025-382-4659

秋葉区 ☎0250-25-5673
南 区 ☎025-372-6621
西 区 ☎025-264-7180
西蒲区 ☎0256-72-8179

